



MBA

KOBE UNIVERSITY
Master of Business Administration

神戸大学大学院経営学研究科
現代経営学専攻（専門職大学院）

神戸大学MBA入学案内

1. 神戸大学MBAのねらい

神戸大学MBAが目指してきたのは、日本のビジネス界をリードする経営人材の育成です。日本企業は、独自の文化を背景に発展をとげてきました。海外においても、日本で培われた経営方式をもとに競争優位を確立している日本企業は少なくありません。一方で、日本の経営の基本を正確に理解し、日本国内はもちろん海外でも活躍できる人材が絶対的に不足しています。このような人材を養成することを主眼に、私たちは25年を越える歩みのなかで、教育の内容とメソッドを時代に合わせて練り上げてきました。

日本においては、MBAの肩書きに会社で働くうえでのメリットはないといわれてきました。しかし、状況は確実に変化しています。「働きながら、学ぶ」ことは、一時的なブームを経て、広く定着しつつあります。会社でのキャリアについても、個々人が主体的にデザインすることが求められる傾向が強まっており、ビジネスにかかわるナレッジ、スキルなどを学び続ける自己投資の必要性が高まっています。また、MBA取得者に対する評価も高まっています。会社の外に目を向ければ、MBA教育を受けることによって、コンサルティング会社やシンクタンクなどへの転職の可能性も出てきます。評価の高いトップスクールのMBA教育を受けることには、その投資に見合うメリットがあります。

*1 プロジェクト方式 (PRM)とは

神戸大学MBAでは、経営教育における独自の体験型の教育メソッドを確立しており、全国に例をみないユニークなものとして、高く評価されています。企業経営にかかわる人材が備えるべき事業観、人間観、洞察力、行動力、そして企業家精神を学生が習得するために、神戸大学MBAが編み出してきたのが、「プロジェクト方式」と呼ばれる教育メソッドです。

現在の神戸大学MBAでは「プロジェクト方式」による授業を必修3科目として提供しており、ここでは、実際のビジネス課題について、学生個人あるいはチームが、学生相互間さらには教員との間で討議を重ねながら、答えるべき「問い」を深掘りし、高度な解決策を構築していきます。この教育方法の重要な点は、解決すべき問題を教員が指定するのではなく、学生個人あるいはそのチームが、筋のよい問いの設定を競うなかで、リーダーとしての志を鍛えていく創発型学習となっていることです。

2. 神戸大学MBAの特徴

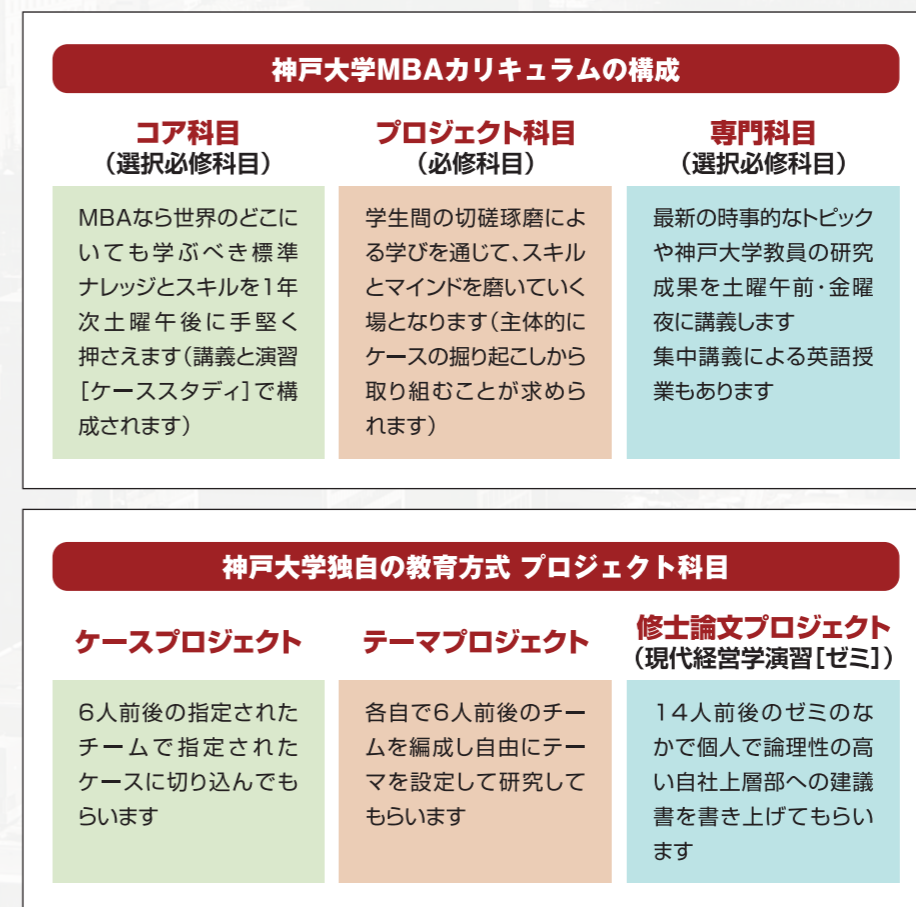
神戸大学MBAの特徴は、グローバルな経営教育の標準を押さえつつ、高度な経営能力を養う独自のプログラムを確立していることにあります。私たちのプログラムは、産業界のニーズを見すえながら、常に進化しています。現在の神戸大学MBAでは、先端的な研究業績をもつ教授陣を通じて、経営学の専門知識を体系的に習得することに加えて、フィールド(経営の現場)の課題を真摯に見つめる姿勢を養うことを重視したプログラムを提供しています。そのために神戸大学MBAでは、会社で働きながら通学し、自らの仕事の現場をもちながら学ぶことを推奨しています。

神戸大学MBAの独自のプログラムは、3つのコンセプトで構成されています。

- ①「プロジェクト方式」(PRM: Project Research Method)*1
- ②「働きながら学ぶ」(BJL: By the Job Learning)*2
- ③「研究に基礎をおく教育」(RBE: Research-based Education)*3

新たに平成29年度から、神戸大学MBAは、この3つのコンセプトを補完する**コア科目群の体系化*4**を進め、プログラムの強化をはかっています。5つの領域から成る神戸大学MBAのコア科目は1年次土曜午後に開講され、グローバルにMBAの標準となっている学習内容を体系的に学びます。その教授方法は、講義とケーススタディで構成され、一方向的な知識の伝授ではなく、インタラクティブな学びの場を提供するように設計されています。コア科目群の導入により神戸大学MBAでは、ビジネス知識(理論)のグローバルな標準を、その背景とロジックを押さえて理解するとともに、経営の実務で活用する能力を養う学習の機会を体系的に提供していく体制を強めています。

図1 神戸大学MBAカリキュラムの構成



*2 働きながら学ぶ (BJL)とは

神戸大学MBAは、企業などの組織で働く人たちにフォーカスした教育を行っています。組織で働くことを経験済みの学生同士であれば、各人の知見や判断能力をぶつかけ合い、教員のアドバイスを受けながら、経営の問題を解決するための能力を高めていく学習が可能です。さらに「働きながら学ぶ」学生であれば、学んだ理論について内省し、すぐに実践することができるといったメリットもあります。

神戸大学MBAは、こうした「働きながら学ぶ」ことの重要性を見すえ、土曜の週末集中講義、最短一年半で修了できるプログラムを開発してきました。このプログラムの人気は高く、神戸大学MBAを目指す受験者の方たちの重要な動機の一つになっています。

*3 研究に基礎をおく教育 (RBE)とは

神戸大学MBAでは、常に最新の研究成果を踏まえた教育を行ってきました。研究に基礎をおく教育は、企業の現場の問題に対して、これまでにどのような知識(理論)が蓄積されてきたのか、またはその問題の解決にどのような方法が使えるのかの把握を徹底的に行つたうえで、既存の知識や方法で解決しえないフロンティアに挑む姿勢をうながします。

さらに神戸大学MBAでは、教育を通じた経営学研究の新たな発展を目指しています。経営学研究の先端を踏まえた教育を行うとともに、この教育からのフィードバックによって経営学研究のフロンティアを見いだす。このポジティブなサイクルから神戸大学MBAは、教育の内容とメソッドを絶えず進化させています。

*4 神戸大学MBAのコア科目とは

MBAなら世界のどこにあっても学ぶべき知識(理論)とその活用能力を養う教育を、神戸大学MBAではコア科目として体系化し、1年次土曜午後に集中的に提供します。神戸大学MBAのコア科目の教育の内容とメソッドについては標準化されており、年度の担当教員によって変更されることはありません。これらのコア科目では、講義とケーススタディを繰り返すことで、ビジネス知識(理論)の実践志向の習得を進めるとともに、ケーススタディからグローバルな経営事例に通じることができるように、授業設計を行っています。神戸大学MBAは、以下の5領域をコア科目として提供しています。

- マーケティング系
(Sales and Marketing)
- 技術経営系
(Technology and Operations)
- 組織・人材系
(Individuals and Groups)
- 会計系
(Controlling and Reporting)
- 戦略系
(Strategy)

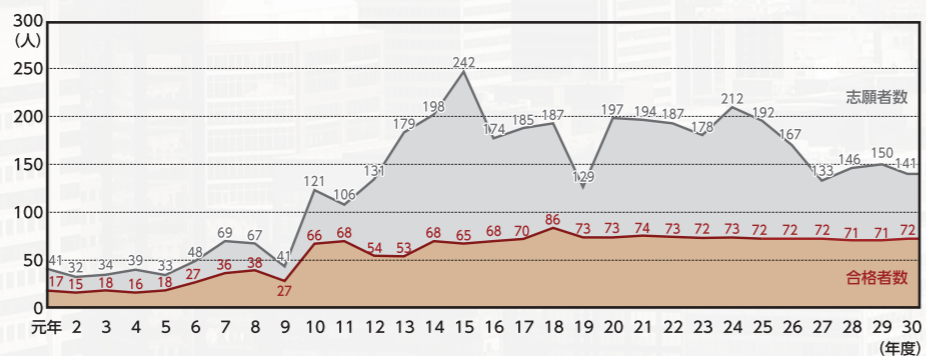
3. 神戸大学MBAの歴史

神戸大学は日本で最初の経営学部を設立した大学です。その後も神戸大学は、経営学の教育と研究の先端を走ってきました。神戸大学が授与した経営学博士の学位は456人、商学博士の学位は135人にのぼります(平成30年3月の時点)。本研究科を修了して国内外の大学で経営学の教育や研究に携わる人は500人を超えており、神戸大学は国内外の経営学研究のセンターとなっています。

神戸大学は平成元年度に、MBAプログラムへのチャレンジを開始しました。これは日本では慶應義塾大学に次いで古い本格的なMBAプログラムです。日本の経営系の大学院を、アカデミックな教育の場からビジネス人のための高度な教育を行う場に拡充する改革についても、神戸大学は先陣を切って参加しました。

当初の10年間ほどの神戸大学MBAは、実験的なプログラムでした、しかし現在では、安定した支持を集めるようになっており、神戸大学MBA(経営学修士)ホルダーは平成30年3月現在で1,435人にのぼっています。

図2 社会人MBAコースの志願者数と合格者数の推移



4. 神戸大学MBAの修了要件

神戸大学MBAを修了するためには、34単位以上の取得が必要です。また、プロジェクト研究に参加し、専門職学位論文(修士論文)を作成し、審査に合格することが必修です。

プロジェクト研究の単位は、12単位(「ケースプロジェクト研究」「テーマプロジェクト研究」(各2単位)と「現代経営学演習(ゼミ)」(8単位)の合計)です。神戸大学MBAを修了するためには、プロジェクト研究に加えて、講義科目(「コア科目」と「専門科目」)から22単位以上取得する必要があります。

図3 神戸大学MBAの履修の流れ

		1.5年履修コース		2年履修コース		
		必修科目(プロジェクト研究)	選択必修科目	必修科目(プロジェクト研究)	選択必修科目	
一年次前期	4月~8月	ケースプロジェクト研究 2単位	現代経営学演習 論文作成 8単位	ケースプロジェクト研究 2単位	現代経営学演習 論文作成 8単位	
	9月	テーマプロジェクト研究 2単位		テーマプロジェクト研究 2単位		
一年次後期	10月~1月		11科目 (22単位)以上を履修		11科目 (22単位)以上を履修	
	2月~3月					
二年次前期	4月~7月				2年後期に希望者は海外留学	
	8月		専門職学位論文提出			専門職学位論文提出
	9月		審査			審査
二年次後期	10月~2月		公開発表会 学位記授与式		公開発表会	
	3月				学位記授与式	

※2年履修コースの場合は、2年次1月に専門職学位論文を提出して2月に審査を受けることも可能です。

5. 土曜集中型の受講

神戸大学MBAでは平成20年度より、土曜のみの履修で、1年半で修了することが可能なプログラムを提供しています。また受講生の利便性を考え、金曜の夜間には大阪教室で多様な選択科目を提供しています。神戸大学MBAの修了に必要な単位数は、土曜提供の科目の修得のみで満たすことができます。さらに金曜の夜間に大阪教室で提供される科目を選択履修することにより、専門分野に特化したカリキュラムになります。勤務の都合などで集中的に受講できない場合には、2年間で修了することも可能です。

6. 入学試験概要

詳細は、神戸大学MBA学生募集要項を確認して下さい。

【募集人員】

神戸大学MBAの平成31年度の募集人員は69名です。

【入学試験と選考の基準】

神戸大学MBAは、高度な専門教育を提供することを目的としています。したがって志願者がそれに耐えうるだけの問題意識、意欲、能力をもっていることを確かめるための入学試験を行います。

入学試験は英語と小論文の一次選考と、面接の二次選考からなります。例年1月に実施します。これらの試験を通じて、以下の判定基準で合否を判断します。

- 神戸大学MBAのプログラムを受講する目的意識は明確か。
- 経営上の諸問題に答えを出すことができる経験と思考能力をもっているか。
- 神戸大学MBAのプログラムを受講する上での協力を職場から得られるか。
- 経営の専門文献を読んだり、調査を行ったりするための基礎学力や語学能力があるか。

7. お問い合わせ

出願期間や入学試験の日程、出願に必要な書類等については、募集要項を参照して下さい。

また、神戸大学MBAホームページ(<http://mba.kobe-u.ac.jp>)にも、詳細な説明を掲載しています。あわせてご利用下さい。

お問い合わせは、下記までお願いします。

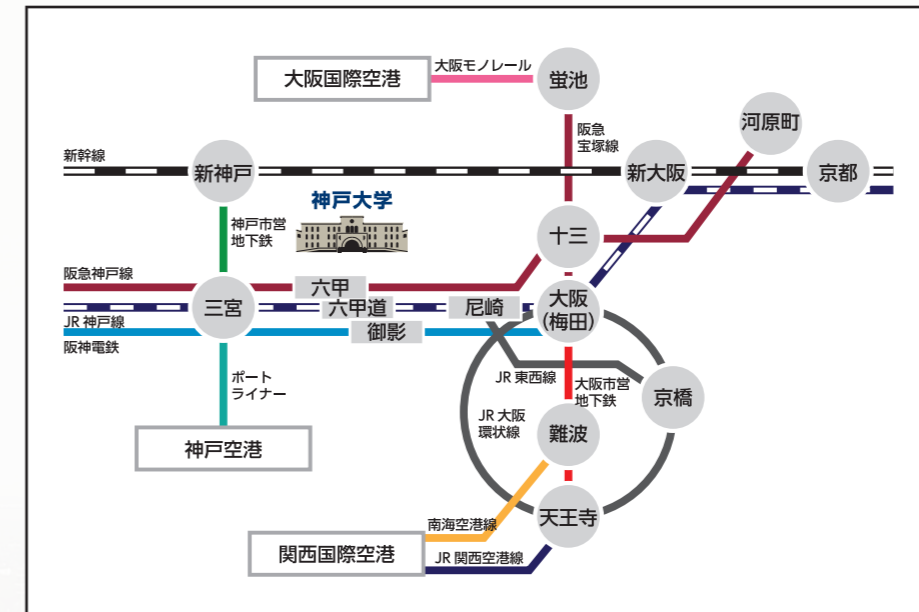
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科教務係

TEL 078-803-7258(平日・土曜日 9:00~17:00)

FAX 078-803-7294

E-mail mbakyomu@b.kobe-u.ac.jp

アクセス方法



- 徒歩 阪急「六甲」駅から約20分
- バス 阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から神戸市バス36系統鶴甲団地行、鶴甲2丁目止まり行き乗車「神大正門前」下車
- タクシー 阪神「御影」駅より約15~20分、JR「六甲道」駅より約10~15分、阪急「六甲」駅より約5~10分

校内案内図

